Household clustering of asymptomatic malaria infections in Xepon district, Savannakhet province, Lao PDR

メタデータ	言語: English 出版者: 公開日: 2017-06-20 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Pongvongsa, Tiengkham メールアドレス: 所属:
URL	https://jair.repo.nii.ac.jp/records/2002207

授与機関名　順天堂大学

学位記番号　乙第 2402 号

Household clustering of asymptomatic malaria infections in Xepon district, Savannakhet province, Lao PDR

（ラオス国サバナケット県セポン郡における不顕性マラリア感染の世帯集積性）

Tiengkham Pongvongsa（ティエンカム　ポンヴァンサ）

博士（医学）

論文審査結果の要旨

本論文は、ラオス国のマラリア流行郡におけるマラリア感染の特徴を明らかにすることを目的に、分子遺伝学的手法によるマラリア種鑑別と陽性率の決定、および感染と関連している個人および世帯レベルの特徴について、マルチレベル・ロジスティック回帰モデルを用いて検討したものである。

2013 年 8 月から 9 月にかけて、サワナケート県セポン郡の 10 村落で横断的調査を実施し、236 世帯の 870 人から得たデータを解析した。その結果、マラリア感染は 52 人（6%）に見られたが、顕微鏡で診断された割合は 40%にすぎなかった。熱帯熱マラリア原虫が優占種であり、その単感染が約 8 割をしめた。三日熱マラリア原虫は一般的に医療施設から報告される頻度より高値を示した。感染者の大半（81%）では、調査時を含む過去 2 週間に発熱歴は認められず、無症候性の頻度が高かった。マルチレベル・ロジスティック回帰では、感染者が検出された世帯では、検出されなかった世帯に比べて、有意に高いマラリア感染のオッズ（オッズ比：24.3）を示した。

ラオス国セポン郡において詳細なマラリア疫学状況を明らかにした本論文は、ラオス国のマラリア排除にむけた国家対策プログラムの策定に有用な科学的根拠を提供する。特に本検討により明らかになったマラリア感染者の世帯集積性を考慮することによって、効率的なマラリア排除の実施が可能になる。ラオス国をはじめ一般に、開発途上国の僻地において厳密な疫学研究を実施することは困難であり、本論文の価値は高い。

よって、本論文は博士（医学）の学位を授与するに値するものと判定した。